

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛宕町23-1
Woody21-9階
TEL. (03)3356-8217
FAX. (03)3356-8637
発行責任者:品川 保弘
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

役員選挙第2回告示

昨年10月22日付で第1回告示が行われた全国協議会の第3回役員選挙は、12月20日の立候補締切までに、別掲の通り推薦理

第3回役員選挙 立候補者一覧

●推薦理事候補者(定数10名)

ブロック	氏名	所属団体名
北海道(1)	島山茂房	北海道骨髄バンク推進協会
東北(1)	四方出淳	宮城骨髄バンク登録推進協議会
関東甲信越(2)	遠山将一	千葉骨髄バンク推進連絡会
	大橋 三	公的骨髄バンクを支援する東京の会
東海北陸(1)	川瀬和子	静岡骨髄バンクを推進する会
近畿(1)	中津和美	京都血液疾患患者家族の会「なかよし会」
中四国(2)	田中邦昭	岡山骨髄バンクを支援する会
九州(2)	立候補届出なし	

●公募理事候補者(定数6名)※届出順

氏名	所在地
1 山村詔一郎	奈良県大和郡山市
2 三田村真	埼玉県上尾市
3 品川保弘	富山県射水郡小杉町
4 小川真理	北海道釧路市
5 関口 隆	埼玉県加須市
6 菅 早苗	千葉県船橋市
7 斎藤江美子	福島県福島市

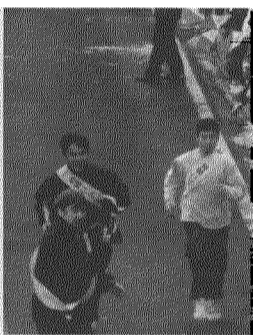
※なお、ホームページでは、候補者のプロフィール、所属も掲載しています。

- 1.投票を行わない推薦理事について**
北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中四国の各ブロックにおける推薦理事の立候補者は定数以内であったために、役員選挙規程第11条第2項の定めにより、投票は行わず、立候補者は推薦理事の有資格者となります。
推薦による理事の有資格者は、5月28日に開催予定の2005年度総会(三重県伊賀上野市)の議決により次期理事に選任されます。
- 2.投票を行う推薦理事について**
該当なし
- 3.公募理事の選挙(投票)について**
公募理事は定数6名のところ、7名の立候補者がありました。そのため、正会員(全加盟団体代表)による投票で選挙を行います。
- 4.役員選挙委員会の設置について**
立候補者がなかった会長、副会長、九州ブロック推薦理事、監事、および立候補者が定数に満たない中四国ブロック推薦理事1名の選考につきましては、役員選挙委員会の設置をすべく理事会に報告しました。
- 5.日程**
○第2回告示(投票開始)
1月31日(月)
*各会員宛てに投票用紙等送付
○投票締切日
3月7日(月)
*選挙管理委員会必着
○開票日(第3回選挙管理委員会)3月13日(日)14時から公開にて開票作業
○開票結果の発表
3月14日(月)文書、HP、機関紙で発表
- 6.投票方法**
○投票者無記名式による、郵送などの通信制です。
○定数分の候補者名を記入する連記投票です。

2005年も箱根駅伝でスタート!



今年で4年連続の骨髄バンク普及啓発。雪・寒風・山、という環境の中、日々都会でのほんとの生活をしている自分には年に1度の体を張った活動です。今年もメンバーが大手町に集まり、例年通りののぼりを持って普及啓発を行いました。小田原中継所では約40本ののぼりをど派手に設置しました。



箱根・宮ノ下でも例年通り地元の人達と息の合った、普及啓発と募金活動を行いました。ご存じの方も多いでしょうが、ここ宮ノ下では地元の人々が音頭をとり観客の皆さんと一緒に選手

全国協議会財政へのご援助をお願いします

全国協議会は今、非常に厳しい財政運営状況にあり、このままでは今年度1500万2000万円程度の赤字となること予想されます。

事務局運営や理事会、総会等会議費用など恒常的な経費だけで年間2000万円程度が必要となります。また、白血病フリーダイヤルをはじめ、各種事業や協議会ニュース、情報誌発行などに800万900万円程度がかかっています。一方、最大の財源である寄付は今年度、今後現状のまま推移すると仮定した場合、1400万1500万円程度となり、昨年度に比べ200万円程度の減となること

の名前を呼んで応援します。今年ハリーサルの時に箱根在住の平賀太郎君(東京の会)と自分のふたりで「骨髄バンクをよろしく」と書かれたタスキをかけてコースを走りまわりました。これには集まった1000名を越える観客も大いに盛り上がり、声を大にして「骨髄!」「バンク!」と叫んでおりました。少々恥ずかしい思いをしながらも、楽しい一時でした。集まった観客の方ほとんどに「ギフト・オブ・ライフ」へ佐藤さち子患者支援基金のパンフレット、「ドナー・サポートダイヤル」のチラシを配りました。

今年例年以上に、骨髄バンクののぼりがテレビ中継に写っていたようです。活動に参加された皆さま、お疲れさまでした。そして、ありがとうございます。最後に今年も箱根駅伝での骨

第2回 骨髄バンク・さい帯血バンク 合同公開フォーラム開催

昨年引き続き、財団・さい帯血バンクネットワーク・全国協議会の3団体共催で骨髄バンク・さい帯血の合同公開フォーラムを以下日程で開催いたします。

日時: 2月27日(日) 10時~17時
会場: 日本赤十字社本社ビル 201会議室

今年、議論していただいたテーマ、意見、或いは質問をあらかじめ広く募集し、当日の進行で座長が紹介して、取り上げる形式を試みることにしました。当日参加予定の方、また都合が悪く出席できない方でも結構ですので、是非、普段感じている素朴な疑問や、医療者・両バンク・その他関係者に届けたい声を、お寄せください。

- 募集内容
骨髄バンクや、さい帯血バンクに関すること/治療方法や、治療に関すること/病気について/関病に関する様々な疑問、不安/ボランティア運動について等(字数制限無し)
- 記載要綱
①お名前(匿名、無記名も可)
②当日の参加・来場の可否
③ご意見を紹介する際のお名前(匿名)の公表の可否
④締切: 2月21日17時
●送付先
①電子メール: office@marow.or.jp
②FAX: 03-3356-8637(全国協議会FAX)
③郵送: 〒160-0005 新宿区愛宕町23-1 Woody21-9 F

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンクNOW

- 平成16年の年間ドナー登録者数は28364人、移植件数は798例
昨年のドナー登録者数は28364人で、一昨年の23216人より5148人(22%)も増加しました。移植件数は798件です。移植件数はここ3年間横ばいでしたが、前年の730例より68例(9%)増加したのは、移植成績の安定と中高年齢(50歳以上)の移植が年後半から顕著に増加傾向を示したからと考えられます。
- ドナー登録要件が変更、今年3月をめどに実施へ
昨年12月24日、厚生労働省の第25回造血幹細胞移植委員会が開催され、「ドナー登録年齢は18歳~50歳」(適合検査および提供は20歳から)、「ドナー登録時の家族同意確認は不要」(骨髄提供時では家族同意が必要)の方針が承認され、登録時のビデオ視聴も原則省略することが了承されました。
ドナー登録要件の変更は、今年3月をめどに実施される予定です。また、今後ドナー登録のしおり、「チャンス」、ドナー登録説明書・申込書などが改訂されます。
- 国際協力の現状・バンクを介して2回提供された方・DLI実施状況

海外ドナーから国内患者へ	2004/10~12				累計移植数
	登録患者数	適合患者数	コアネット数	移植数	
NMDP(米国)	7	6	5	0	97
BTCSCC(台湾)	6	5	6	0	18
KMDP(韓国)	9	5	2	0	11
計					126
国内ドナーから海外患者へ	2004/10~12				累計提供数
	登録患者数	適合患者数	コアネット数	提供数	
NMDP(米国)	28	14	15	1	5
BTCSCC(台湾)	0	0	0	0	0
KMDP(韓国)	93	57	44	1	103
その他の国**	-	-	-	2	17
計					125

- 日本骨髄バンクの現状(2004年12月末現在)

	11月	12月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,208	1,548	201,300	256,331
患者登録者数	138	147	2,729	17,444
骨髄移植例数	74	69	-	6,103

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。



各地のり 各たより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

東京

1月ボロ市は雨の中で
東京の会では12月15、16日、1月15、16日の二回、恒例の世田谷ボロ市に参加しました。12月は信州松川のりんご・市田柿、東京蒲田の甘豆、釧路の鮭とば、韓国王室海苔と人気商品をフルラインアップで出店、ウィークデイにもかかわらず、温かな好天に恵まれ、骨髄バンクチャリティ商品の固定ファンの方々には沢山訪れていただき、早い時間に完売閉店する結果となりました。

1月ボロ市は久しぶりの土日開催に恵まれ、お天気が良ければ沢山の人が出る筈と張り切って準備していたのですが、あいにくとその日を狙い撃ちするかのようになり、予報が外れるようにとの願ひも空しく雨模様の中での出店となりました。昨年台風が日本全土をくまなく何回も襲来し、信州松川のりんごも被害を受けて品薄のため、1月のボロ市は出品のお願いをご遠慮して、看板商品をおひとつ欠いての出店となりました。寒い雨の影響で出店数も減り、入出が半分以下となる中、骨髄



バンクのお店は出ているかなと心配しながら来てくださったお客様が何人もあり、寒さの中で暖かな気持ちをいただくことが出来ました。(新田)

リレー紹介 ボランティアの仲間たち

江島潔さん(山口)の巻

今回紹介する山口の会の江島さんは、ふくさしや巖流島で有名な下関市の市長です。公務なしという日が一年間で数日という大変忙しい中、ドナーとなりました。

ですが、江島さんはボランティアの学生をいつも励まし、ボランティアの輪の広がりに一役買っています。また、ボランティア仲間の懇親会には、数10キロ離れた場所でもなんと都合をつけて参加します。酒を飲まないのに、酔いの回った我々の議論につきあいます。ちなみに、二次会でも彼が注文するのはアルコールではなくココアというユニークな仲間です。(古田)

その貴重な経験を、高校生対象の勉強会や、山口の会の設立十五周年記念講演会で話したりして普及広報活動に大いに貢献しています。

下関市では毎年、馬関まつりが開催されます。当会も参加し、バザーや募金活動を行っています。



心からのご寄付に 感謝申し上げます

12月20日~1月23日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円
岩村進次を囲む		
親睦ゴルフ大会	現金	234,000円
東京都勤労青年		
洋上セミナー OB会	現金	800,000円
小野綾一	現金	30,000円
鈴木純子	現金	1,340円
匿名	現金	70,327円
渡辺千尋	現金	30,000円
飯島孝枝	現金	1,000円
長谷麻美子	現金	6,000円
赤木隆子	切手	506円
村上晴美	現金	800円
竹里庵コンサート会	現金	50,000円
なかよし会	現金	3,500円
平森姫里	現金	2,025円
池田亜矢子	現金	200,000円
清水正夫&亜矢子	現金	147,000円
鈴木 円	現金	100,000円
三瓶和義	現金	2,120円
切明 蹊	現金	5,000円
入江佐和子	現金	3,000円
荒木俊司	現金	30,000円
八潮市商工会女性部	現金	25,000円
三田村真	現金	50,000円
匿名	現金	100,000円

●佐藤さち子患者支援基金

飯島孝枝	現金	1,000円
切明 蹊	現金	5,000円
花田吉隆	現金	5,000円
越塚友巳	現金	3,000円
齋藤生吾	現金	70,000円

●白血病患者支援基金・募金箱

堤建装	現金	10,312円
-----	----	---------

●あやちゃん基金

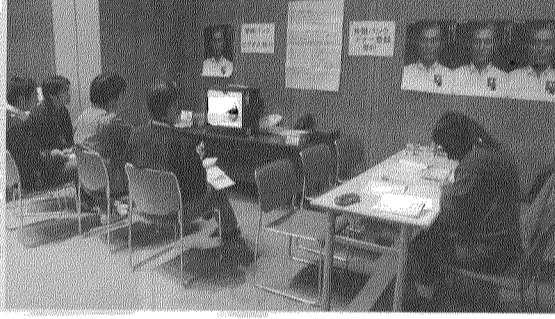
青木英子	現金	50,000円
齋藤生吾	現金	10,000円

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

正月明けの登録会

正月気分も抜けきらない1月5日、7日の3日間、N T T労働コムウェア幕張分会にて初めての献血併行登録会を実施しました。



血者が500人近くあり、献血に対する取組み、献血者の意識の高さに関心しました。今回の献血会では是非ドナー登録会を実施してもらえよう願ひし、今回の登録会開催に結びついた次第です。
3日間でドナー登録者は51人、献血者は585人。献血の問診を担当する医師は3人いました。が、献血者の列は3日間途切れることがありませんでした。献血者の中には以前ドナー登録を行ったが、結婚・引越等で登録されているか不明という人が結構おられたことが印象に残っています。
平日3日間続けての開催でもあり、千葉の会だけでは対応メッパが足りず、岐阜、埼玉のボランティアの方々にもご協力頂き、大変感謝しています。
次回も今回ぐらいドナー登録者がいると良いのですが、献血と違って登録は1人1回なんです。(遠山)

イオン(株)店舗で募金活動

2000年8月よりイオン株式会社各店舗にて行っていた「白血病患者支援募金」活動も今年で4年目を迎えます。今年も1月24日、2月20日までの約1ヵ月間、全国のイオン本社系列のジャスコ、マックスバリュ、フォーラス、メガマート、イオンモール、スポーツクラブザ・スペースの各店舗とカンパニー事務局、事業本部事務所の420カ所を重点的に募金呼びかけを行っていただけのことにになりました。主に各店舗のサービスカウンター付近に、募金箱とあやちゃんの「すのなかのバナナ」が描かれた新ポスターが掲示され、募金協力を呼びかけます。ぜひとも足をお運びください。

第47回 理事会報告

1月16日・全国協議会事務局

- 12月会計報告
- 日本造血細胞移植学会からの電話相談受託について
- 報告事項
 - 名義後援、承認案件
 - 三重全国大会進捗状況
 - 協議会設立15周年事業について
 - ボランティア全国大会の在り方について
 - 協議会財政危機対応
 - 合同公開フォーラム準備状況
 - 第3回役員選挙について
- 報告事項
 - 財団委員会報告
 - 岡山・日本造血細胞移植学会口頭発表報告
 - 箱根駅伝、普及啓発活動
 - ブロックセミナー開催報告
 - イオン(株)店頭募金の対応方法について
 - シヤデイ事業協力依頼の件

虹色スミレ好評発売中

150号でもお知らせした株式会社サカタのタネが販売している新色のパンジー「虹色スミレ」ですが、やはり10年の歳月をかけて開発した商品だけあって、業界内でも大ブレイク中とのことです。商品ラベルに骨髄バンク事業への協力とフリーダイヤルが掲載され、売上金の一部を全国協議会にご寄付頂けることとなっています。これからガーデニングシーズンを迎えます。みなさんのご家庭や職場の花壇を彩り鮮やかな「虹色スミレ」で飾ってみませんか?全国の園芸店、ホームセンターなどで、販売されています。

いんいちち募金箱

埼玉県川越市

このたび2万2千円を超える募金(本紙149号記載)を送金頂いた、川越市の繁華街にある丸広百貨店を訪問し、担当者の吉野さんにお話を伺いました。「当店では、確か平成3年頃、川越JCの方から依頼されて募金箱を設置し、その後だいぶ時間が経過したため箱にひびが入ったので、送金と共に新しい箱を取り寄せたところです。箱そのものが、ちよっと目立たないのが残念ですね。」と言って、

吉野さんは、インフォメーションカウンターの隣に設置してある首導犬協会の募金箱を紹介してくれました。それは、50センチぐらいの高さの募金箱に1メートルぐらいの首導犬の置物が載ったもので、ガイドブックも添えられ、誰にもすぐわかるものでした。吉野さんの親切なアドバイスに感謝しつつ、持参した埼玉連絡会の会報やリーフ立て、星野仙一さんのポスターなどの設置や掲示をお願いし、店を後にしました。(笠原)

**残余財産を
骨髄バンクに**
東京都勤労青年
洋上セミナーOB会

このたび、東京都勤労青年洋上セミナーOB会から全国協議会に80万円の寄付を頂きました。東京都勤労青年洋上セミナーは、都内の中小企業に勤務する青年を対象に船上研修と中国訪問を行うセミナーで、船を下りた後に社会貢献活動などを行う組織として、OB会が結成され、10年にわたって活動してきました。都の財政難などによりセミナーが開催されなくなつて数年が経過し、OB会の活動も停止することになり、残余財産を全国協議会に寄付頂いたものです。11月に活動停止を決議する総会が開催され、セミナーOB会でもある私が出席して目録を頂きました。私が骨髄バンクのボランティアを始めたのもOB会の事後活動がきっかけであり、感慨深い思いでした。協議会の財政が厳しい折、貴重なご寄付を頂いたOB会関係者の皆さんに、あらためて心から感謝申し上げます。(二見)



1階インフォメーションカウンター
の募金箱